



2021(仏暦2564)年 9月号 (第120号)

万行寺報

Mangyoji Jihō

発行
浄土真宗本願寺派 万行寺
住職 山崎信充
〒385-0003
長野県佐久市下平尾4 6 1 - 1
電話 0267-67-2460



■住職法話

救いの目当てはこの私

■浄土真宗 (新) 仏事のイロハ

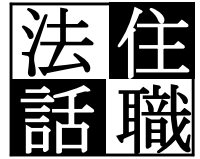
■本願寺の本

やさしく語る親鸞聖人伝

■編集後記

年忌法要表

1 周忌	2020(令和 2)年	23回忌	1999(平成11)年
3 回忌	2019(令和 1)年	25回忌	1997(平成 9)年
7 回忌	2015(平成27)年	27回忌	1995(平成 7)年
13回忌	2009(平成21)年	33回忌	1989(平成 1)年
17回忌	2005(平成17)年	50回忌	1972(昭和47)年



救いの目当てはこの私

今月の法語

如来の願心が

我一人に成就したのが

信心である

れるのは矛盾しているように感じます。

弥陀の五劫思惟の願を

よくよく案ずれば

ひとえに親鸞一人が

ためなりけり

「如来の願心」とは、阿弥陀仏という仏さまの願いのことです。その願いとは、生きとし生けるもの全てを迷いの世界からお浄土という世界に生まれさせたいということです。

これは、親鸞さまのお言葉をとお弟子の唯円がまとめられたとされる『歎異抄』の中にあります。「阿弥陀仏が五劫もの長い間思いをめぐらしてたてられた本願をよくよく考えてみると、それはただ、この親鸞一人をお救いくださるためであった」と親鸞さまもつねづね仰っていたということです。

罪を背負う身であったのに、救おうと思いついてくださった阿弥陀仏の本願の、何とものつたいないことであろうか」とお話しになりました。

それは、深く重い罪悪をかかえている迷いの世界に生きている救われるはずのないこの私です。阿弥陀仏の本願によつて救われる。だからこそ、生きとし生けるもの全てが救われることは間違いないと喜ばれたのです。

この言葉を聞いて心に響いた方は少ないでしょう。誰を守つてくれるのか空事にしか聞こえません。重要な事は、観点を間違えては何も伝わりません。

皆が救われなくては私は仏にならないとまで誓われたのは阿弥陀如来です。親鸞さまは、「親鸞一人がため」と決して如来の救いを独り占めしたのではなく、こんな私であつても、救いの目当てはこの私にそがれているのだからと身を挺して信心をお示しくくださったのです。皆が救われる教えではなく、誰もが救われる教えを頂いているということです。

菅総理の「国民の生命と財産を守るため」という発言をよく耳にしました。決意の言葉なのかよくわかりませんが、



浄土真宗

⑧ 仏事のイロハ

二、葬儀を行う

― 悲しみを超えて―

「葬儀の日取り」

亡くなった時は、まずお寺へ連絡！

亡くなられると、遺族は悲しみの中で、いろいろな手続きや準備をしなくてはなりません。最近では病院で亡くなるケースが八割を超えるのですが、それが自宅であっても、福祉施設であっても、まず医師の死亡診断書が必要になります。

その後、葬儀に向けての手配や準備を葬儀業者に頼まれることになるでしょう（地域の方々が行われる所もあり

ます）が、どこに頼まれるにしろ、まずはお寺に連絡していただきたいのです。

というのは、葬儀の日時や場所、さらに葬儀の形態や葬儀業者の選択まで、お寺に相談されると、よりスムーズに進むからです。なにしろ葬儀を執行するのは葬儀業者ではなく、導師を務めるお寺の住職なので――。

特に、日時については、お寺は予定を変更して葬儀に臨



むわけですから、そのことを念頭に入れて、できるだけお寺の都合を聞いていただきたいのです。

その点に関して言えば、お寺とは日ごろから関わっていただくことが大切なのです。

また日取りを決める時に、気にしなくてもよいのが「友引」です。「葬儀＝友引の日を避ける」という風潮がある

ようですが、「これは日の吉凶をよつ六曜」からきており、因果の道理を説く仏教では、

むしろ、そういう日の吉凶に惑わされてはならないとされています。そもそも六曜にしても、本来は「友引」ではなく「共引」だそうで「良くも悪くもない日」であり「友

だちを引き連れていく…」という意味ではけっしてありません。

ですから、もし「友引」を気にする人がいても、気にする必要がないことを説明して安心させてあげてください。

お念仏を喜ばば、仏さまがその勇気を与えてくださることでしょう。何の根拠もない

ことに身を煩わすのではなく、周囲に振り回されず、しっかりとした主体性をもって人生を歩む―喪主を務める

人の力量が問われることになるのですが、その精神的支柱となるのが仏教であり、お念仏なのです。

ポイント

▼「友引」に葬儀をしてはいけないというのは、まったく根拠がない

▼葬儀の日取りは導師をつとめる住職の都合を聞いてから

「浄土真宗 ⑧ 仏事のイロハ」 末本弘然著／本願寺出版社刊より

～本願寺の本～

「やさしく語る親鸞聖人伝」

本願寺出版社 刊 1320円(税込)

これから浄土真宗のみ教えに触れていられる方々にむけて、中央仏教学院の著名な講師8名が親鸞聖人のご生涯とそのみ教えをやさしく語る。

- 第一章 親鸞聖人の生涯とその教え(瓜生津隆真)
- 第二章 親鸞聖人と比叡山の修行(浅田正博)
- 第三章 六角堂参籠と法然聖人との出遇い(黒田覚忍)
- 第四章 越後流罪と恵信尼公(森田真円)
- 第五章 関東時代とその門弟(白川晴顕)
- 第六章 帰洛の理由について(清岡隆文)
- 第七章 善鸞義絶について(貴島信行)
- 第八章 往生とその生涯の意義(浅井成海)



[本願寺出版社HPより]

親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要

立教開宗800年 Joint Celebration 850th Anniversary of Shinran Shonin's Birth & 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching

法要期日

2023(令和5)年	
第1期 3月29日(水)～4月3日(月)	第3期 4月24日(月)～4月29日(土)
第2期 4月10日(月)～4月15日(土)	第4期 5月6日(土)～5月11日(木)
	第5期 5月16日(火)～5月21日(日)

毎月16日はShinran's Day 浄土真宗本願寺派 親鸞聖人のご命日です ご参拝ください 龍谷山 本願寺

編集後記

お彼岸の月で、彼岸花を表紙にしました。別名は曼珠沙華と言います。墓地に植えられていて、お彼岸に合わせて咲き誇っています。

◆末本先生の著書をそのまま転載させて頂いています。『仏事のイロハ』に関して、今回は葬儀を執り行う際のお寺からの要望を中心にお伝えしてあります。◆葬儀とは、大切な方を亡くされたご遺族や有縁の方々がい、そして儀式を執り行う宗教者、式全体をサポートする葬儀業者などが揃って皆で勤められるものです。誰が主導するわけでもないことは念頭におきたいものです。

